

# **平成30年度 事業報告書**

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

# 目 次

- P1～P3…… 法人の概要
- P4～P5…… 事業の概要
- P6～P11…… 湊川短期大学事業報告
- P12……… 三田松聖高等学校事業報告
- P13……… 湊川短期大学附属西舞子幼稚園事業報告
- P14……… 湊川短期大学附属神陵台幼稚園事業報告
- P15……… 湊川短期大学附属北摂第一幼稚園事業報告
- P16……… 湊川短期大学附属北摂中央幼稚園事業報告
- P17……… 湊川短期大学附属北摂学園幼稚園事業報告
- P18……… 湊川短期大学附属キッズポート保育園事業報告
- P19……… 湊川短期大学附属ぱるとこども園事業報告
- P20……… 財務の概要
- P21……… 平成30年度財務報告
- P22～P23… 過去三ヵ年の財務推移表
- P24～P26… 平成30年度決算報告グラフ他分析資料

# 学校法人 湊川相野学園

学校法人湊川相野学園 平成30年度 事業報告書  
(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

## 1 法人の概要

### 1 建学の精神

本学の教育は、校祖幸田たま女史の何事にもくじけぬ不屈の精神と、誠を持って貫き通す強い意志の力を基本とする。

平和を尊び、高い徳性と健全な心身を備え、新時代に即応できる知性や技術を身につけた、有為な社会人を育成する。

### 2 学園教育目標

- 創意創造の精神

日々新たにまた日に新たなりの意欲のもと、科学心を啓培し

- 誠実不壞の信念

和敬協調、自律自修の信念をもって、挙措清楚に意志凜然と

- 全人的人格形成

高邁なる英知、豊かな情操を涵養して、心身を鍛磨し、清く正しく強い、時代に適応できる有為な社会人を育成したい。

### 3 設置する短期大学・高等学校・幼稚園・保育園の名称及び所在地

#### (1) 湊川短期大学

(人間生活学科・専攻科健康教育専攻・幼児教育保育学科・専攻科幼児教育専攻)

〒669-1342 兵庫県三田市四ツ辻1430

#### (2) 三田松聖高等学校（普通科・特進コース・総合コース）

〒669-1342 兵庫県三田市四ツ辻1430

#### (3) 湊川短期大学附属西舞子幼稚園（幼稚園型認定こども園）平成27年4月1日認可

〒655-0043 兵庫県神戸市垂水区南多聞台5丁目8-1

#### (4) 湊川短期大学附属神陵台幼稚園（幼稚園型認定こども園）平成27年4月1日認可

〒655-0041 兵庫県神戸市垂水区神陵台5丁目8-6

#### (5) 湊川短期大学附属北摂第一幼稚園（幼稚園型認定こども園）平成23年4月1日認可

〒669-1544 兵庫県三田市武庫が丘4丁目10番

#### (6) 湊川短期大学附属北摂中央幼稚園（幼稚園型認定こども園）平成27年4月1日認可

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目16番

(7) 湿川短期大学附属北摂学園幼稚園（幼稚園型認定こども園）平成27年4月1日認可

〒669-1337 兵庫県三田市学園7丁目1-3

(8) 湿川短期大学附属キッズポート保育園

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目16番

(9) 湿川短期大学附属ぼるとこども園

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目3番1号2階

#### 4 役員・評議員の概要

##### 【役員】

理事	理事長	浅井祐子	監事	監事	下山隆一郎
	常務理事	山野上素充		監事	木寅文雄
	常任理事	堀忍			(2名)
	常任理事	末本誠			
	常任理事	則木豊丈			
	常任理事	原口富美子			
理事	大前衛				
理事	柳田昌三				
理事	小室烈生				
理事	高尾裕子				

(10名)

##### 【評議員】

評議員	評議員	浅井祐子	評議員	大前衛
	評議員	山野上素充	評議員	金澤敦夫
	評議員	堀忍	評議員	川崎宏紀
	評議員	末本誠	評議員	藤原智
	評議員	則木豊丈	評議員	藤本まり子
	評議員	大前成美	評議員	稻山悟
	評議員	濱田康助	評議員	喜多弘樹
	評議員	大前通代	評議員	柳田昌三
	評議員	原口富美子	評議員	田仲正之
	評議員	中井重樹	評議員	高尾裕子
	評議員	馬越美佳	評議員	中田初美
	評議員	大西則夫	評議員	小室烈生
評議員	斎本康正			

(25名)

5 設置する学科等の名称及び募集定員と学生・生徒・園児、教職員数

(1) 湊川短期大学

(単位：人)

湊川短期大学	募集定員	収容定員	学生数	教員数		職員数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
人間生活学科	80	160	107	13	23	8	3
幼児教育保育学科	100	200	197	13	20	11	6
専攻科健康教育専攻	10	20	8				
専攻科幼児教育専攻	10	20	13				
合計	200	400	325	25	43	19	9

(2) 三田松聖高等学校

(単位：人)

三田松聖高等学校	募集定員	学則定員	生徒数	教員数		職員数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
総合コース			989				
特進コース			71				
合計	270	810	1060	63	7	10	2

(3) 湊川短期大学附属幼稚園

(単位：人)

	募集定員	認可定員	園児数	教員数		職員数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
西舞子幼稚園	70		203	13	10	0	2
神陵台幼稚園	62		153	12	8	0	2
北摂第一幼稚園	110		241	19	16	0	1
北摂中央幼稚園	100		265	15	13	1	1
北摂学園幼稚園	85		128	11	13	0	0
合計	427		990	70	60	1	6

(4) 湊川短期大学附属保育園

(単位：人)

	募集定員	収容定員	園児数	保育士数		職員数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
キッズポート保育園	15	70	82	18	5	2	7
ぱるとこども園		19	19	7	3	0	0
合計	15	89	101	25	8	2	7

※ 学生・生徒・園児・教職員数 2018年(平成30年5月1日現在)

## 2

## 事業の概要

## (1) 平成30年度の主な事業

(法 人)

茶室天井改修工事	410, 400	但南建設(株)
三田市四ツ辻二度ノ口852番6・876番7	471, 920	
三田市四ツ辻二度ノ口853番1・876番2・901番3	14, 628, 000	
学園専用駐車場用地造成工事設計業務	1, 312, 200	ナカタ設計
学園専用駐車場用地造成工事	33, 814, 800	前田道路(株)関西支店

(短 大)

短大西側寮系統汚水管メンテナンス工事	341, 604	(有)なべい設備商会
3号館横歩道スロープ改修	437, 400	(株)合田工務店
健康モニタリング装置ASTRIM FIT	408, 348	伊藤超短波(株)
サーバリプレイス(主サーバ他)	197, 640	(株)ハーバー・ソフトウェア
蘇生法教育人体モデルJAMY	155, 520	松田文具店
券売機 VT-B20(食堂)	534, 600	グローリー(株)
図書館改修・耐震補強工事	6, 376, 320	(株)トーホー・コンストラクション
短期大学本館湧水対策工事	1, 944, 000	(株)熊谷組関西支店

(高 校)

水平引き込み式折畳式バスケット台	3, 600, 000	パワーハウス神戸店
クランポン バスクラリネットLow C	1, 523, 880	(株)森岡楽器
第一体育館ポンプメンテナンス(取替)工事	397, 440	(有)なべい設備商会
雷レーダー(パトライト交換)	324, 000	音羽電機工業(株)
総合グラウンド防犯カメラ	2, 100, 000	(有)花崎電気工事
火災報知器増設工事	430, 000	(有)花崎電気工事
本館外壁改修工事	16, 632, 000	但南建設(株)
サッカー場新設工事(基本設計)	7, 322, 400	(株)安井建築設計事務所
サッカー場新設工事	263, 520, 000	前田道路(株)関西支店
里道舗装工事	2, 332, 800	前田道路(株)関西支店
プールサイド擁壁漏水補修	382, 154	前田道路(株)関西支店
部活動訓練宿舎新築工事設計・監理	4, 104, 000	(株)衣笠設計
部活動訓練宿舎新築工事	40, 791, 600	日興建設(株)
部活動訓練宿舎電気工事	4, 631, 040	内田電工(株)

(西舞子幼稚園)

防球ネット設置工事	1,188,000	清立商工(株)
-----------	-----------	---------

(神陵台幼稚園)

汚水配管修繕	345,600	(株)合田工務店
既存サッシ等改修工事	6,700,000	(株)合田工務店
門扉入替工事	680,000	(株)ライフライン
給食調理場 エアコン取付一式	378,000	藤原電気
ハイパワーワイヤレスアンプー式	304,236	(株)ジャクエツ神戸店

(北摂第一幼稚園)

トイレ改修工事（保育棟2階）	2,052,000	(有)なべい設備商会
折畳式アルミ製やぐらステージ（手すり付）	923,000	フレーベル館
廊下防水LED照明取替工事	339,000	(有)花崎電気工事
オーニングテント取替	1,188,000	但南建設(株)

(北摂中央幼稚園)

ヤマハリニューアルピアノ	1,026,000	(株)三字屋楽器店
園庭遊具BOCCO×2	2,514,500	フレーベル館
障害者トイレ改修	2,984,936	(有)なべい設備商会
門扉取替工事	313,200	但南建設(株)

(北摂学園幼稚園)

正門付近地盤調整復旧工事	518,400	但南建設(株)
園内トイレ改修工事	9,720,000	但南建設(株)
引き戸工事	1,080,000	但南建設(株)

(キッズポート保育園)

園庭遊具BOCCO	1,590,500	フレーベル館
LED照明交換	1,334,880	(有)花崎電気工事

## 2018 年度 湊川短期大学事業報告

### 1 短大運営

2018 年度の短期大学の運営は当初、学長のリーダーシップの下で従来通りの短大運営会議と教授会での議論を基本に出発したが、夏休み前から補助金の要件変更に伴って臨機応変の対応が求められることになったため、学長室会を新たに組織して取り組んだ。この体制は緊急の対応が求められる事態が当面消失したため、年度終了前に終え 3 月から従来通りに戻した。各学科・専攻および専攻科の運営は、それぞれ運営会議での議論を踏まえて実施された。また常設委員会、専門委員会に分かれて短大運営に当たった。

運営の基本は國の方針を受けた、「学修成果の拡充」を旨とした。具体策として、小人数によるきめ細かい指導が可能になるよう、ゼミ指導体制（基礎ゼミ・専門ゼミ）を導入した。

昨年度から開始した、「2018 年問題」に対応した短大改組に継続して取り組み、来年 2020 年度からの幼児教育専攻の改編と介護福祉士養成の一年制の専攻科設置の準備に取り組んだ。また、法人の方針に合わせて短期大学教員の教員評価制度の導入を決め、9 月に中間評価のための面談を行った。

### 2 人間生活学科

2020 年度の改組において専攻科（生活福祉専攻）を設置することが決定したため、生活福祉専攻の専攻科への移行準備を具体的に進めた。人間健康専攻については、改組を機に更なる魅力を発信できるように免許・資格の充実について検討を行った。

#### 2-1 人間健康専攻

定員充足率の維持・向上が課題となっていることから、専攻の魅力向上に向けて新たな免許・資格の導入について検討し、取得できる資格に准学校心理士を追加した。また、中学校教諭（保健）二種免許の課程認定を目指して準備を進め、2018 年度内に申請を済ませた。

人間健康専攻の養護教諭コースにおいては、教員採用試験対策講座の充実、学習環境の整備等に努め、卒業生 4 名が養護教諭として勤務することとなった。医療秘書事務コンピュータコースにおいては、就職対策プログラムを整備し、資格取得、および資格を活かした就職に向けた支援を強化した。食育健康コースでは、地域の企業と共に新商品を開発し上市することができた。医療事務・食育健康コースは例年通りの資格試験合格率と就職率を維持した。2019 年度は 37 名（前年比 -4 名）の入学者を迎え、充足率は 74% であった。

#### 2-2 幼児教育保育学科

2018 年度は定員の充足が最重要課題であり、入学生の確保に向けて高校生対象の模擬授業やガイダンスの実施を内容改善と合わせて強化したが、結果は 80 名（充足率 80%、前年比 -8 名）という結果であった。この結果を踏まえて、保育職に加えて介護福祉分野に関心

を持つ高校生への入学勧奨を進めるべく、新専攻科（生活福祉専攻）の創設とあわせた新たな魅力づくりに取り組む予定である。

学生指導については、保育職として就職した後も退職をすることなく、継続して勤務していく資質と姿勢を身につけさせることが課題であることから、実習指導（事前・実地・事後）の強化を図った。また全教員がチューターとなり、5～10名をそれぞれが分担して担当し、きめ細かに学生指導を行うこととした。

附属園との連携強化に向けて、附属園、短大の教職員が一堂に会する研修会を持ち、前年度の内容改善を行うことで質の向上を図った。

### 3 専攻科

#### 3-1 健康教育専攻

近年は、定員充足率と教員採用試験合格率の向上が課題になっている。今年度の定員充足率は、前年度の入学者数3名（充足率30%）から5名（同50%）へと増加した。教員採用試験については、教員採用試験特別講座の充実と環境が整えられた学習室の設置と活用により、正規養護教諭採用や臨時講師採用に向けた指導を行った。

#### 3-2 幼児教育専攻

2019年度入学者をもって幼児教育専攻の美募集を停止することとし、最後の入学生を迎える年度という位置づけを行って入学選考を行った結果、2名の合格者があった。在学生に対しては、幼稚園教諭1種免許を取得し、将来的には勤務先の施設で指導的な枠割を果たすことができるだけの資質を身につけられるよう指導内容の精選と充実を図った。附属園でのインターンシップの実施や子育て支援センターでの活動、現職保育士向けの講座の運営補助、被災地支援ボランティアなどである。

#### 3-3 生活福祉専攻（予）

2020年開設に向けて、準備を進めた。前年度末が期限であった計画申請の資料を揃え提出済みであり、そのヒヤリングが2019年5月末に実施される。募集については、大学案内に掲載、またリーフレットを作成中で5月末には仕上がる予定となっている。ターゲットとしては本科生のみならず、養成校で保育士を取得した、卒業生や社会人も視野に入れている。

### ＜各種委員会＞

#### 4-1 学生支援委員会

前年度に引き続き、各フロアに禁煙の掲示と分煙ポスターの設置を必要箇所に行った。8月と12月には生活美化委員を招集し、駐車場の吸い殻拾いを実施。飲酒リスクやSNS利用マナー（2年生については三田警察に依頼し、総合オリエンテーションにて実施。）、交通マナー等をオリエンテーション期間に周知した。

1年生のみの合宿オリエンテーションを1泊2日で、丹波少年自然の家において実施した結果、学生の満足度は高いものであった。また寮の防災訓練を7月に避難経路の確認を中心に実施した。

学友会は11月2日・3日の大学祭を中心に、新入生歓迎運動会、卒業パーティーなど、学生の自主的な参加を促しながら実施した。

#### 4-2 教務委員会

カリキュラム作成作業を計画的に行うため、「カリキュラム作成の日程と流れ」を申し合わせとして作成して実施した結果、予定より順調に作業が進んだ。

学生への学習保障の充実と学修成果を客観的に評価できるシラバスの作成の体制づくりを目的に、シラバス記載についてのFD活動を実施した。また、シラバス作成マニュアルを整理し、シラバス記載の項目追加、内容記入の詳細化、各科目のカリキュラム上の難易度の記入を実施し、記載内容について第三者による点検を行った。

カリキュラム変更、カリキュラムツリーやマップの点検を行い、情報公開した。ディプロマポリシーに照らし合わせて、カリキュラムの偏りを点検する書式作成を行った。新設のキャリア創造コースの位置づけについて再検討し、コースの選択時期は2年進級時、履修科目は「キャリアデザインⅢ」をとした。

休学・退学防止のために、欠席・遅刻・早退に対する学生指導について検討し、公欠の設定を行った。今年度の退学者は15名であった（2017年度6名、2016年度16名）。

#### 4-3 入試広報委員会

改組に伴う入学者数の増加に向けた学生募集が、今年度の課題であった。

学生募集活動においては高校訪問についての過去のデータを活用し、平成26年度以降の入学者数の多い高校等を重点的に教職員に担当を決め高校訪問を実施した。進学説明会については、教職員同士で情報交換し進学説明会に活用できるよう、各教職員の高校訪問の動向がわかるリストを作成し運用した。また、学生募集の一環としてオープンキャンパスの来場者数増加を目指し、学生広報委員募りSNSを活用した広報活動を展開した。また、入試の改定にあたり、不備であった大卒認定受験者の提出書類の条件等を整備した。

#### 4-4 自己点検・評価委員会

2020年度に第3者評価を受けることが予定されていること、および国の補助金政策の改編の中で自己点検・評価項目の見直しが進んでいることを受けて、今年度から評価内容を新しいものに変えながら自己点検・評価報告書をまとめ、ウェブに公開した。またこのような環境変化に対応すべく、新たに湊川短期大学アセスメントポリシーを策定した。なお自己点検評価、法人向け事業報告書とは別に、自己点検・評価で明らかになった課題を半期ごとにその進捗状況を確かめる「湊川短期大学年次報告集」をまとめ教職員で共有するようにした。

#### 4-5 FD 委員会

年間のFD活動計画を策定し、ほぼ一か月に一回のペースで開催した。内容は「数字から見た湊川短期大学の現状」「2018年度の入学者の動向について」「高校生のニーズについての理解」「ハラスメント防止のために」「特別な配慮を必要とする学生の理解」「湊川短期大学のアセスメントポリシー」「学外者から見た湊川短期大学の授業評価」「IR活動について」「双方向型授業の展開とシラバス」「湊川短期大学の教育目標の見直し」である。

#### 4-6 研究推進委員会

研究推進委員会では、第5回キャリア教育研究会を2019年3月に開催し、三田松聖高等学校とのキャリア教育研究に関して研修会や意見交換を行った。また、学内科学研究費補助金制度により、学内外の研究者により構成される3つのグループを学内研究として採択し、学内の研究活動を推進した。日本学術振興会科学研究費補助金のうち基盤研究(c)、若手研究の2件が採択され、継続されている基盤研究(c)の分担研究と併せて3件の科学研究費補助金事業が進んでいる。

### 5 各種センター

#### 5-1 キャリア教育センター

キャリアデザインの授業、前期は、人間生活学科健康専攻の2クラス、生活福祉専攻の1クラス、幼児教育・保育学科3クラスの編成でスタートさせたが、生活福祉専攻が小規模であった関係で授業内容の発展性、各学生の発表頻度等でバランスを保つために、健康専攻のBクラスに統合し、5クラス体制とした。1クラス30人規模で、読む、聞く、話し合う、自分の考えをまとめる、人前で話すなど大学教育の基本となる学び方の実践を行った。後期には、履歴書・自己紹介書作成に注力し、1年次終了時点では半数以上の学生が、履歴書・自己紹介書の作成に取り掛かる実力を身につけた。従来からの就職に向けた準備教育から、学び方、卒業後も学び続ける姿勢を持つことが定着してきた。夏休みには、出身高校を訪問し、キャリアデザインで学んでいることを報告する課題を出したところ、68人の学生が39の高校を訪問し、進路指導等でお世話になった先生方に報告した。全先生方から、一言コメントをもらってきたので取りまとめ、学生募集のために高校訪問する際の情報として活用できるよう共有した。また、お手を煩わせた先生方に礼状を送付した。昨今の業界を問わない採用意欲の高さも追い風になり、学生の就職状況は、好成績を収めることができた。就職希望者の就職率は人間生活学科・人間健康専攻99%、生活福祉専攻100%、幼児教育保育学科100%、全体で99%であった。

#### 5-2 地域連携センター

開設3年目を迎えた地域連携センターは、キャリア教育センターや短大事務局との連携

を図り、事組織体制の整備や学内調整の手順を整理し、更なる機能の強化を図った。また、地域連携会議を開催し（年2回開催）、地域の方の意見を踏まえて組織運営を行っている。また、学生によるボランティア活動の促進のため、登録ボランティア制度の運営やボランティア情報の提供、活動結果のHP掲載や学内掲示板への掲示を行っている。なお主たる活動実績としては以下のとおりであり、のべ227名の学生がボランティア活動を行った。

#### 【事業活動例】

- ・西日本豪雨被災地支援（2回）、福岡県九州北部豪雨被災地支援（21回）・三田市主催事業へのボランティア学生派遣（三田市制60周年記念行事、三田まつり、三田市家族の日、学生のまち推進事業、サンタ×三田プロジェクト他）・三田市民向けの生涯学習事業（三田市民大学、こうみん未来塾）など

### 5-3 学生相談センター

学生の健康管理について、学生保健調査票及び健康診断結果を基に学生の健康上の注意点を把握し、各学科専攻教員と情報を共有した。また、学生に「健康調査」を実施し、学生の心身の健康状態を把握し、面談必要と考えられる学生に学生相談利用を呼び掛けた。学生相談は予約51名、来談45名であった。その他、クールダウンスペースの活用や箱庭作成の目的での相談室訪問があった。合理的配慮の実施について、試行として、授業配慮申請した学生1名への支援を行った。

入学生へ「学生相談室のご案内」を配布し、学生相談室について案内した。4月に寮生を対象としてお茶会を実施し、参加は1年生17名、2年生13名であった。また、学生へ健康管理意識の向上のために、「カラコロ通信」を5回発行しホームページに掲載した上で、掲示板や学生相談室内で掲示した。

健康教育講演会として、1年生を対象に、産婦人科医師による「いのちってなんだ（性教育）」を実施した。FD・SD活動として、須崎カウンセラーによる発達障害についての講演を実施した。

### 5-4 三田市地域子育て支援センター

施設のリニューアルから2年が経過し、プレールーム並びに園庭等の保育環境の整備が進んだ。これにより三田市内はもとより篠山市や神戸市北区などからも来所者が増え、年間利用者の総数は3,619人（子ども2,079人、保護者1,540人）（前年比557名増）を数えた。また、短大幼児教育保育学科の学生や三田松聖高校インターラクト部の生徒がボランティアとして運営の補助を行うほか、短大教員による「子育てあいあい講座」（年間8回）を開設し、学習機会の提供に努めている。

学外活動としては、「子育て応援団」事業として、ウッディタウン市民センター内の大会議室を利用して、親子どうしの仲間づくりの支援活動を実施し（月1回程度）、「てくてくみんな・とっち」事業として、駒ヶ谷運動公園体育館内の講座室を利用して、子育て広場を開

設している（月1回程度）。

## 6 附属図書館

前年度、和歌山大学図書館長の助言を受けながら進めた図書館改修が進み、グループ学習室や図書館内のライニングコモンズ的利用が進んだ結果、利用者を大きく伸ばした。また、各種講座等での開館を進めた結果、学外の利用者も増加し、学生の学修意欲にも良い影響を与えている。また、大規模な蔵書の整理を行い、リファレンスサービスも向上した。

## 7 その他

教員免許更新講習や保育士等キャリアアップ講座を拡充しての実施し（4講→7講座）、附属園の教員はもとより、学生の実習園に勤務される幼稚園教諭、保育士に対して資質向上の機会を提供した。参加者数はいずれも合計で、教員免許更新講習会が476名、保育士等キャリアアップ講座が460名であった。

## 三田松聖高等学校

### 平成30年度 学校教育目標 「生徒が生き生き・伸び伸びと活動する学校」

#### I. 生徒募集状況

##### ① 志願者・入学者・生徒数の推移

志願者数及び入学者数が大幅に減少した。少子化の影響があるかも知れないが、その他の原因も含めて検討し、本校の魅力を再確認すると同時に、しっかりと中学生にアピールしたい。

( )は男子数

(毎年5月1日現在)

年度	募集定員	志願者数	入学者数	全生徒数	1年	2年	3年
H28年度	210	2,447(1,351)	431(294)	1,169(791)	431	397	341
H29年度	210	2,392(1,302)	394(254)	1,184(780)	394	412	378
H30年度	210	2,214(1,198)	290(185)	1,060(695)	290	377	393

##### ② 特別進学コースと総合コースの生徒数・クラス数の推移

平成15年から「特別進学コース」と「総合コース」を設置。

年度	特進コース	クラス数	総合コース	クラス数	クラス数計	(毎年5月1日現在)
H28年度	79	3	1,090	27	30	
H29年度	73	3	1,111	28	31	
H30年度	71	3	989	27	30	

#### II. 進路実績(平成31年3月)

卒業者総数 390名

- ・4年制大学: 157名(40.3%)
- ・就職 : 65名(16.7%)
- ・短期大学 : 29名(7.4%)
- ・進学未定 : 29名(7.4%)
- ・専門学校 : 109名(27.9%)
- ・その他 : 1名(0.3%)
- ・その他 : 1名(0.3%)

#### III. 部活動の主な結果

- ・男子バスケットボール部: 県総体「ベスト8」, 県新人大会「準優勝」, 近畿新人大会「ベスト8」
- ・女子バスケットボール部: 県総体「第3位」, 県選手権大会「第3位」, 県新人大会「優勝」(初)  
近畿新人大会「ベスト8」, 3×3 U18 日本選手権大会「優勝」(初)
- ・女子バレー部: 県総体「ベスト32」, 近畿私学選手権大会出場
- ・サッカーチーム: 丹波地区リーグ戦「優勝」, 県リーグ参入戦出場, 県選手権大会「ベスト32」
- ・陸上競技部: 男子駅伝県大会「第21位」(2時間19分50秒)
- ・水泳部: 全国高校選手権大会(100m平泳ぎ「7位」/200m平泳ぎ「第12位」)  
近畿新人選手権大会出場(男子400mリレー, 男子400mメドレーリレー)
- ・少林寺拳法部: 近畿大会出場
- ・洋弓部: 県新人戦「50m W男子団体・第3位」/30m W女子団体・第2位」

#### IV. 平成30年度の主な行事

- 4月7日 第68回入学式
- 6月8日,9日/13日 松聖祭(文化の部) / 松聖祭(体育の部)
- 8月2日,21日 学校見学会(中学生見学者: 計698名)
- 8月18日,19日 第13回兵庫私立中学・高等学校展(合同説明会)クラウンパレス神戸
- 9月19日 人工芝サッカーグラウンド竣工式
- 1月14日~19日 2年生・ハワイへの修学旅行(第14回目)
- 2月9日 平成31年度入学試験(志願者: 2,001名)
- 2月21日 第66回卒業式

# 湊川短期大学附属西舞子幼稚園 平成30年度事業報告

## (1)在籍状況(利用定員200名 認可定員220人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2歳児	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
満3歳児	2	2	5	5	5	9	10	12	13	14	14	15	106
3歳児	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	63	756
4歳児	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	768
5歳児	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	768
計	203	203	206	206	206	210	211	213	214	215	215	216	2518

認定こども園4年目、学園や保護者、地域のお力添えで安定した運営が保たれている。また、地域子育て支援としての本園での活動も年追うごとに盛況で、園特色を理解、支持されての入園希望者も、例年以上多数申し込みを有難く思う。収支上昇に安堵しつつも、確実に少子化に向かっている現実を念頭に置き、今後も利用定員数の安定に努める。

## (2)運営・経営状況

・主幹教諭(二年目)を中心に新たに新任2名配属され、2, 3, 4年目も含めた若手教諭が正規の2/3を占める中、ベテラン教諭の休職(二学期復帰)、また、一学期末、休みがちで心配していた新任も退職、主幹教諭の短大出向(二年目)と正規職員欠員3名の中での半年間は、正直シフトローテーションがきつく、各職員の負担が相当厳しかった。そんな中、昨年度採用された非常勤講師4名も懸命に支えてくれた。また、内、一人が常勤的教諭へ措置して頂き、長時間労働人数が一人増え、正規3名欠員の状況下で、大変助かった。教諭の少なさに泣いた一年だったが、皆が支え合って乗り越えてくれたことに感謝。そして、年度末には誰も退職する事なく、お互い支え合って保育の楽しさを感じて、次年度につなげていこうとする姿勢や、非常勤講師も次々免許更新など意欲をもって前向きに進んでくれることが有難い。

## (3)怪我・事故

・園児の病院での診断、治療は、脳外科3、整形外科8、形成外科4、歯科3、眼科6だった。健康状態に配慮を要する園児は、今年度も、癲癇、発熱初期の熱性痙攣、重度の食物アレルギーなど多く、ダイナップ、エピペン等の薬剤を園で預かっており、現段階で園ができる範囲での配慮を各保護者と話し合いを繰り返し、双方が納得した上で行った。今後も全教諭で一人一人の病状理解し合いながら、初期対応に各教諭が最善を尽くせるよう(緊急時対応シミュレーション、AED研修、エピペン使用方法など)、スキルを高めていく。

## (4)子育て支援事業

- ・ひよこルーム(預かり保育): AM7:00～19:00 長期休暇中も有 1日平均約50人前後 各号により料金設定有
- ・つぼみ教室: 月4回程度、登録14組。有料、満2歳以上未就園親子。親子体験遊び中心。園行事在園児交流
- ・すこやかひろば: 月2回程度、満1歳以上未就園親子。随時登録可。地域友達との触れ合いの場とする。
- ・わくわくようちえん: 就学前幼児対象、年間48回、園にて年長児と共に幼児教育体験。本年度該当なし。

## (5)職員研修

- ・新任研修(年14回) 附属5園、短大研修 子育てフォーラム
- ・県、神私幼連盟研究会(特別支援研修(2名)、専門研修(3名)、主任研修・10年目研修(1名)) 県私幼研究会子育て相談研修(2名) 私立幼稚園研修会 垂水区私立幼、保、小教員研修 幼小連絡会(小学校長、幼稚園、保育園長)

## (6)購入・修繕等

- ・購入 和太鼓2台

## (7)異年齢交流・連携事業活動

- ・トライやるウィーク(6月…明石市立中学校1校、10月…神戸市立中学校3校)
- ・実習生、学生ボランティア受け入れ 交通安全教室(垂水警察来園指導)
- ・「みんなまってるよ」就学前事業(5歳児西舞子小へ) 消防署体験訪問(垂水消防署)
- ・プレ親体験交流学習(長坂中3年) みんなあつまれ(神戸市私立幼稚園連盟主催)

## (8)広報・社会活動

- ・園児育て支援活動PRボード作成掲示(区保健所担当窓口)・神幼研ホームページ園紹介内容の更新PR向上
- ・幼稚園ホームページの更新向上(各園共通化と各園の特色)と 各学年 ブログ更新(1～2週間ごと)

## (9)園内研究(委員会)活動

- ・園内研究会(各学期ごと)の実施 子どもの発達に添った内容を軸にした話し合い
- ・年間通しての保育日誌に基づく保育内容指導
- ・園長からの保育参考資料配布 市特別支援教育インクルーシブ教育相談員訪問観察指導(年5回実施)

## 湊川短期大学附属 神陵台 幼稚園 平成30年度事業報告

### (1) 在籍状況(認可定員 240名 ・ 利用定員 180名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	1	2	4	4	4	8	8	8	8	11	12	12	82
3歳児	47	47	47	47	47	46	46	46	46	45	45	45	554
4歳児	49	49	49	49	49	50	51	51	51	51	51	51	601
5歳児	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	660
計	152	153	155	155	155	159	160	160	160	162	163	163	1897

\* 昨年度と比較して

- ・利用定員に対しての入園率は、昨年29年度が85.5%、今年度は87.8%で上向き傾向ある。
- ・昨年に続き、応募状況では三歳児と満3歳児学級は増加傾向にある。

### (2) 運営・経営状況

- ・新制度の幼稚園型認定こども園となり4年目、2号認定の枠が2月以降にならないと神戸市からの依頼人数がわからず、定員に満たない状況が続いている。満3歳児学級は継続して開設。

### (3) 怪我・事故

- ・外科4件  
転倒による外傷 3件  
右手親指骨折 1件(友達に指を踏まれる)

### (4) 子育て支援事業

- ・私立幼稚園2歳児子育て応援事業(在宅2歳児対象)は実施、応募者が多く好評であったが、職員の確保が困難である。
- ・みんなの幼稚園事業(未就園児対象、月2回程度)も幼児の体験を重視し参加者が多数。
- ・わくわく幼稚園の開設事業(在宅5歳児)を開設するが本年度も申し込みなし。

### (5) 職員研修

- ・新任研修
- ・附属園研修
- ・神戸市私立幼稚園専門研修
- ・10年目研修
- ・人権教育研修
- ・私立幼稚園教員子育て支援研修
- ・主任研修

### (6) 購入・修繕等

- ・園舎のサッシ入れ替え工事
- ・給食室スロープ
- ・保育室前テラスクッションシート化

### (7) 異年齢交流・連携事業活動

- ・トライやるウィーク 2校
- ・プレ親体験 2校
- ・神陵台小学校との交流体験活動(プレ小学生)
- ・幼稚園実習生受け入れ

### (8) 広報・社会活動

- ・神戸市こども家庭局のHP等への情報提供(預かり保育実施園一覧表)
- ・広報誌(ちやいるどの一と・神戸市垂水区版)に情報掲載

### (9) 園内研究(委員会)活動

- ・園内での保育研究 5~6月に全員実施。(1人2回実施)
- ・全学級の園児についての研修会(年間を通して月2回程度で実施)

## 認定こども園 渕川短期大学附属 北摂第一幼稚園 平成30年度事業報告

### (1)在籍状況(定員 300名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1歳児	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
2歳児	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
満3歳児	0	0	2	3	3	8	9	10	10	10	10	10	75
3歳児	72	72	72	71	70	70	70	70	70	70	70	70	847
4歳児	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	768
5歳児	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	1080
計	237	237	239	239	238	243	244	245	245	245	245	245	2902
入所率	71%	72%	73%	74%	73%	76%	77%	78%	78%	78%	79%	79%	

### (2)運営・経営状況

- ・クラス数については昨年度同様である。
- ・職員の退職は正規2名、非常勤1名である。新規採用は3名である。
- ・担任(常勤)、副担任(非常勤)と9クラス全て2人体制で取り組みが出来た。
- ・保護者の会三役と学級委員が園運営に大変協力的で、スムーズに運営できた。
- ・1号認定子どもの預かり保育利用児が増加している。

### (3)怪我・事故

- ・病院での診断、治療…5回(歯科4件、整形外科5件、救急1件)救急は癲癇発作での受診。

### (4)子育て支援事業

- ・すこやか広場(月に2回 園庭開放・職員と遊ぼう・教育相談)
- ・あいあいルーム  
親子コース 月2~3回 (延べ利用者数 582名) ・こどもコース 月3~4回 (延べ利用者数 397名)  
本年度も非常に好評で利用者が年々増加し、嬉しい悲鳴をあげている。  
先に述べたあいあいルームを経験された方がそのまま幼稚園に入園したいという希望者が多い。  
内容的にも充実しているので、希望者が多いのではないかと推察できる。

### (5)職員研修

- ・キャリアアップ研修、新任研修、特別支援研修、夏季特別講座、三同教(県・市)主催、教員研修大会等様々な研修に参加できた。
- ・特別支援教育では、本園児が通園している施設に担任が出向き、担当職員の方に丁寧に教えていただき、園で実施している。

### (6)購入・修繕等

- ・園児トイレの改修工事。

### (7)異年齢交流・連携事業活動

- ・トライやるウイーク(2校)・北摂三田高校体験保育・有馬高校インターナンシップ受け入れ・教育実習受入。
- ・武庫小学校との交流
- ・地域行事参加(5歳児有志)・武庫小校区まつり
- ・コーラスの指導講師による七夕コンサートに参加。(5, 4歳児有志)

### (8)広報・社会活動

- ・保、幼、小連携に係るスタンダードカリキュラム(7)園内研究(委員会)活動・卒業生と語る会出席。
- ・三田市と連携し、子育て支援事業の掲載。

### (9)その他

- ・特別支援の必要な園児への対応を学ぶため、県から派遣されているキンダーカウンセラーの先生にお越しいただき、ご指導いただいた。

## 湊川短期大学附属北摂中央幼稚園 平成30年度事業報告

### (1) 在籍状況(定員305名 利用定員290名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	前年度3月
満3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
3歳児	90	91	92	91	90	90	90	90	90	90	90	90	77
4歳児	88	88	88	87	87	88	88	88	88	88	88	88	83
5歳児	86	86	86	86	85	85	85	84	84	84	84	84	81
計	264	265	266	264	262	263	263	262	262	262	262	262	251

\* 昨年度と比較して

4月園児数は前年度より13名多かった。途中入園、退園の月が4か月続いた。3歳児が一クラス30名で多く受け入れたので、満3歳児入園は全員断った。クラス数は前年度と同様の一学園3クラス、合計9クラスである。

### (2) 運営・経営状況

・職員の退職は常勤2名。新規採用は常勤が3名、異動が3名。副担任の各クラス1名配置は確保できた。行事の日に天候不順やインフルエンザによる学級閉鎖で変更する行事もあったが、無事に終えることができた。保育運営は比較的安定した一年であった。保護者の会の活動もスムーズに運営されていた。

### (3) 怪我・事故

・病院で診断、治療を受けた回数は11回  
(外科・整形外科 9件 歯科 2件)  
主な内容は捻挫、挫創、肘内障、歯茎出血であった。

### (4) 子育て支援

・本年度も好評であった。満3歳児入園は3歳児入園が多くなり断つたため、子育て支援のあいあいルームに応募が殺到した。2グループ月2回にして70名近くを受け入れた。  
色々な企画も用意され、内容的にも充実した取り組みであった。  
課題点としては人数の多さに準備、片付けに時間を要し、一人ひとり丁寧にかかるには難しい一面があった。来年度は改善したい。

### (5) 職員研修

・新任研修、附属7園研修、三同教、県、市主催の研修、キャリアアップ研修、子育て支援研修ならびに夏期特別講座など多数参加した。保幼小中連携研修、特別支援研修、教員研修大会などにも大勢の職員が参加した。

### (6) 異年齢交流・連携事業活動

・トライやるウィーク2校受入れ、三田西陵、祥雲館高校との交流、すずかけ台小学校との交流を例年通り実施した。地域の大型店舗への絵の掲示、ウッディタウン市民センターでの絵の展示なども実施した。波豆川地区とは田植、稻刈り、芋の苗植え、収穫、しめ縄作りなど多くの交流活動ができた。

### (7) 広報・社会活動

・すずかけカーニバルへの出展協力、掲示板による園行事、子育てフォーラムや子育て支援の掲載、笑顔ですくすくSUNだっこ、ハニーFMのラジオ出演等を行った。

### (8) 園内研究(委員会)活動

・兵庫県、三田市教育委員会、子ども支援課等の教育相談やアドバイスを受け、気になる児童への対応を職員会議等で報告した。湊川短大との研究会にも参加し、他園との情報交換等も行った。兵庫県の新たな取り組み「キンダーカウンセラー」を活用し、秋から臨床心理士を月1回訪問していただき、保護者のカウンセリング、発達支援のいる園児への助言等を受けた。

## 湊川短期大学附属北摂学園幼稚園 平成30年度事業報告

### (1) 在籍状況(認可定員145名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	0	0	0	1	1	1	2	2	2	2	2	2	0
3歳児	39	39	39	41	41	42	42	43	43	42	43	43	497
4歳児	42	42	42	43	43	42	42	42	42	42	42	42	506
5歳児	47	47	47	48	48	49	49	49	49	50	50	50	583
計	128	128	128	133	133	134	135	136	136	136	137	137	1601
入所率	88%	88%	88%	92%	92%	92%	93%	94%	94%	94%	94%	94%	

\* 昨年度と比較して

・入園率7月以降90%以上。

平成29年度3月136名 平成30年度3月137名

### (2) 運営・経営状況

今年度も大過なく順調な園経営ができた。日々の保育で元気に遊びすぐすくと伸びる園児の様子、行事ごとに成長するこどもたちの姿を観て、保護者や地域の方々からも「楽しく温かい幼稚園」と言われるようになってきた。それには、日々力を合わせて一所懸命保育に取り組む教職員の頑張りと保護者の皆様や地域の方々のご協力、ご支援あってのことと感謝している。来年度は平成から新しい元号となる、また、湊川相野学園も創立100周年を迎える節目の年である。より一層、研鑽を積み、地域に根を張った信頼される幼稚園となるよう、皆で力を合わせて頑張っていきたい。

### (3) 怪我・事故

病院で診断・治療を受けた回数2回(整形外科1回、歯科1回)

### (4) 子育て支援事業

- ・未就園児とその保護者の為の「すこやかひろば」を開設、又園庭開放びを設け親子遊び体験、絵本の読み聞かせ等を行った。
- ・兵庫県私立幼稚園2歳児応援事業
- ・兵庫県わくわくようちえん事業

### (5) 職員研修

- ・附属5園合同研修・三同教・阪神同教・運動遊び講習会・特別支援研修・学校園所連携研修・教員研修大会・湊川相野学園保育研究会

### (6) 購入・修繕等

- 購入 防災アンプ
- 修繕 園児トイレ改修(乾式、全洋式)

### (7) 異年齢交流・連携事業活動

- ・トライやるウィーク・三田松聖高校実習農園借用・県立祥雲館高校体験保育・実習生受け入れ・関西学院大学よさこい連炎流との交流・湊川短大・県立三田西陵高校保育体験等を実施した。

### (8) 広報・社会活動

- ・こいのぼり防火訓練にて新聞掲載・県立祥雲館高校との交流新聞掲載・園飼育の羊の毛刈り新聞掲載・学園地域まつり職員参加

### (9) 園内研究(委員会)活動

- ・保育研究会議・保育室環境整備会議・特別支援に係る会議・安全対策委員会・感染症委員会・アレルギーについての会議

## 湊川短期大学附属キッズポート保育園 平成30年度事業報告

### (1) 在籍状況(定員70名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	7	7	9	9	10	10	10	10	10	10	12	13	117
1歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
2歳児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168
3歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
4歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
5歳児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
計	82	82	84	84	85	85	85	85	85	85	87	88	1017
入所率	117%	117%	120%	120%	121%	121%	121%	121%	121%	121%	124%	126%	121%

### (2) 運営・経営状況

在園児兄弟が多く、0歳児13名中、8名が在園児兄弟である。(その内4月入園希望者が6名)  
市からの要望もあり例年に比べ、0・1歳児を多く受け入れたため、年間入所率が120%を超えた。

### (3) 怪我・事故

・病院で診断、治療を受けた回数は6回(歯科3件、形成外科3件)いずれの怪我も完治済。

※歯科は転倒の際に腕で支えきれずに唇をうち、裂傷2件や歯のぐらつき1件が見られた。  
形成外科は額にひっかき等で傷がついたため、3件中2件は同じ園児。

(日本スポーツ振興センターに災害給付金申請は2件。歯科、形成外科ともに1件ずつ)

※その他は1回の受診で完治。

### (3) 子育て支援事業

・三田市子育てステーション事業を毎月1回実施した。

・兵庫県委託事業の乳幼児応援事業は年48回行った。

### (3) 職員研修

#### ・園外研修

新任研修、三人考(就学前教育会研修)、睦保会研修(三田市内認可保育園所8園合同)、  
給食施設協議会研修、他園(やまぼうし保育園)見学、特別支援教育研修講座  
障害児保育研修、三田市立幼稚園教育研究会、体づくり研修、絵画表現研修  
処遇改善キャリアアップ研修(幼児保育・乳児保育・障害児保育受講)  
三田市内認可保育園所との保育士部会(学年別)

#### ・園内研修

0歳児のあそびと発達、わらべうた研修、幼児保育研修等

### (4) 購入・修繕等

・園庭大型遊具取り換え(中央幼稚園と按分)

・LED照明取り換え

・園児用歯ブラシ殺菌保管庫

### (5) 異年齢交流・連携事業活動

・どらいやるWiーク3校(三田市内2校・神戸市北区1校)、篠山鳳鳴高校体験保育、湊川短期大学  
1回生来園、附属短大生との交流

すずかけ台小学校との交流会、よこやま保育園との年長児交流会

保育士養成校の保育、実習生受け入れ等を実施。

### (6) 広報・社会活動

・三田市内認可保育園所・幼稚園合同による就職フェアが実施され、三田市内附属園4園で1ブース  
を出した。

### (7) 園内研究(委員会)活動

・ひやりハット委員会、幼児クラス保育会議、乳児クラス保育会議

・離乳食会議、給食委員、アレルギー児配食会議等を行った。

・睦保会会計監査を1期務めた。

## 湊川短期大学附属ぽるとこども園 平成30年度事業報告

### (1)在籍状況(定員19名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	3	3	3	4	4	4	5	5	5	5	6	6	53
1歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
2歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
計	19	19	19	20	20	20	21	21	21	21	22	22	245
入所率	100%	100%	100%	105%	105%	105%	110%	110%	110%	110%	115%	115%	107%

### (2)運営・経営状況

開園2年目となり、運営また保育も充実へと向かった。また様々な基礎固めをしていくにあたり課題を整理した(園務分掌・園内の使い方や戸外活動時における安全確保)。経営においては、0歳児の入所希望が多く安定していた。

### (3)怪我・事故

- ・病院で診断、治療を受けた回数は3回(小児科3件)いずれの怪我も完治済。  
(日本スポーツ振興センターに災害給付金申請は3件。)

### (4)職員研修

- ・新任研修、短期大学・附属園 教育・保育研究会 園内研修(年3回)  
他園見学、キャリアアップ研修、造形遊び講習会、特別支援教育研修講座
- ・実践研究

「遊びが充実するための環境のあり方Ⅱ -小規模保育施設におけるすみっこ遊びの検討-」

日本保育学会第71回発表

「子どもの主体としての心を育てる保育とはⅡ -小規模保育施設におけるアクションリサーチをとおして-」

乳幼児保育学会第28回大会発表

「子どもの主体としての心を育てる保育に向けて-小規模保育施設での実践と課題-」 湊川短期大学紀要 第55集

### (5)連携事業活動

- ・附属短大生との交流  
連携園との交流活動  
保育士養成校の保育、実習生受け入れ等を実施。

### (6)園内研究(委員会)活動

- ・ひやりハット委員会、保育環境会議、危機管理委員会  
・離乳食会議、アレルギー児対応についての会議等を行った。

### 3 財務の概要

学校法人 湊川相野学園

#### ◇ 計算書類の読み方 ◇

学校会計の計算書類は、一会计期間における資金の収入及び支出の流れを明らかにする資金収支計算書、一会计期間の経営状態を明らかにした事業活動収支計算書及び、一定時点の財政状況を示した貸借対照表があります。

資金収支計算書は、その年度の教育・研究諸活動に対応する資金の使途（資金支出）とこれに対する資金の調達（資金収入）のすべてを明らかにしたもので、通常の研究教育に関する収入・支出とともに、施設の建設や借入金等も含んだ全ての資金を伴う収入・支出が掲載されております。また、平成27年度より、活動区分資金収支計算書の作成が義務付けられました。活動区分は、教育活動・施設整備活動・その他の活動に区分され、学校にどういう収入がありこれをどう使っているか、また、資金繰りの健全性があるかを表しています。

事業活動収支計算では、教育活動収支と教育活動外収支及び特別収支に分かれています。教育活動における収支差額を教育収支差額といい、教育活動外収支までを含めた収支差額を経常収支差額といいます。さらに、特別収支差額も含めた収支差額が基本金組入前当年度収支差額となります。これらは、バランスの均衡状態を明らかにすることと、経営成績を明示することを目的としています。もし、このバランスがとれず支出超過（赤字）ということになれば、健全な財政状態とはいえません。赤字解消に努力しなければ、教育・研究活動に支障をきたすことになります。

貸借対照表は通常の企業会計とは異なり固定性配列法で表示しております。固定性配列法とは、配列を資産・負債の換金性の面からとらえ、換金性が低い、すなわち固定性の高い項目の順に並べる方法です。この配列法は公益事業、鉱山業など固定資産の比重の高い企業の設備資金の分析に有用であるとされています。

基本金組入れは、学校がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持することを要求されていることから、基本金対象資産として定められた資産相当額は、明確に区分し、事業活動支出に充てるべきでないという学校法人会計の基本的な考え方に基づく会計処理です。

今回の会計基準の改正では、以前のように、帰属収入から基本金組入額を控除して消費収入を算出するのではなく、基本金組入前当年度収支差額がわかりやすい計算方式となっています。

なお、基本金および基本金の対象となる資産は、具体的に次のものをいいます。

##### ① 第1号基本金

施設・設備などの固定資産（図書を含む）の取得額

##### ② 第2号基本金

将来の施設取得等のために収受した寄付金等を、あらかじめ計画的に積み立てる金銭等資産の額

##### ③ 第3号基本金

奨学金等の基金として保持し運用する金銭等資産の額

##### ④ 第4号基本金

恒常的に保持すべき資金（消費支出の1カ月分）

以上のように、基本金には、必ず対応する資産がありますが、基本金自体は何らの資産ではありません。基本金は、学校が継続して維持すべき資産を概念的に金額で表した規模ということになります。

平成30年度

## 財務報告

●資金収支計算書●事業活動収支計算書●貸借対照表  
●活動区分資金収支計算書

学校法人 渕川相野学園

## 資金収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位 千円)

支出の部				収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費 支 出	1,518,631	1,528,416	△ 9,785	学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	1,054,627	1,021,964	32,663
教 育 研 究 経 費 支 出	328,943	333,889	△ 4,946	手 数 料 収 入	40,619	37,902	2,716
管 理 経 費 支 出	266,991	269,053	△ 2,062	寄 付 金 収 入	4,274	11,010	△ 6,736
借 入 金 等 利 息 支 出	1,908	1,887	21	補 助 金 収 入	1,087,013	1,161,611	△ 74,598
借 入 金 等 返 済 支 出	8,330	8,330	0	資 産 運 用 収 入	36,007	43,383	△ 7,376
施 設 関 係 支 出	294,769	300,997	△ 6,228	資 産 売 却 収 入	0	1,378,800	△ 1,378,800
設 備 関 係 支 出	28,140	20,963	7,177	事 業 収 入	94,339	105,873	△ 11,534
資 産 運 用 支 出	0	1,318,472	△ 1,318,472	雜 収 入	58,445	72,326	△ 13,881
そ の 他 の 支 出	279,125	641,214	△ 362,089	借 入 金 等 収 入	0	0	0
予 備 費	0	0	0	前 受 金 収 入	179,300	172,999	6,301
資 金 支 出 調 整 勘 定	△ 4,758	△ 78,625	73,867	そ の 他 の 収 入	231,556	673,054	△ 441,499
次 年 度 繰 越 支 払 資 金	1,370,967	1,587,980	△ 217,013	資 金 収 入 調 整 勘 定	△ 219,957	△ 273,170	53,212
支 出 の 部 合 計	4,093,046	5,932,576	△ 1,839,530	前 年 度 繰 越 支 扟 資 金	1,526,825	1,526,825	0
				収 入 の 部 合 計	4,093,046	5,932,576	△ 1,839,530

事業活動収支計算書  
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位 千円)

支出の部				収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費	1,518,631	1,527,460	△ 8,829	学 生 生 徒 等 納 付 金	1,054,627	1,021,964	32,663
教 育 研 究 経 費	508,904	517,250	△ 8,345	手 数 料	40,619	37,902	2,716
管 理 経 費	285,122	286,551	△ 1,429	寄 付 金	4,274	11,010	△ 6,736
徴収不能引当金繰入額	0	0	0	補 助 金	1,087,013	1,160,411	△ 73,398
教育活動収支差額	26,659	78,225	△ 51,566	事 業 収 入	94,339	105,873	△ 11,534
借 入 金 等 利 息	1,908	1,887	21	雜 収 入	58,445	72,326	△ 13,881
その他の教育活動外収	0	0	0	受 取 利 息・配 当 金	36,007	43,383	△ 7,376
教育活動外収支差額	34,099	41,495	△ 7,396	そ の 他 の 教 育 活 動 外 収	0	0	0
資 産 処 分 差 額	0	39	△ 39	資 産 処 分 差 額	0	4,196	△ 4,196
そ の 他 の 特 別 支 出	0	12,502	△ 12,502	そ の 他 の 特 別 収 入	0	3,288	△ 3,288
特 別 収 支 差 額	0	△ 5,058	5,058	支 出 の 部 合 計	2,314,566	2,345,689	△ 31,123
支 出 の 部 合 計	2,314,566	2,345,689	△ 31,123	収 入 の 部 合 計	2,375,323	2,460,351	△ 85,028
予 備 費	0	0	0				
基本金組入前当年度収支差額	60,758	114,663	△ 53,905				
基本金組入額合計	△ 418,448	△ 431,904	13,457				
当 年 度 収 支 差 額	△ 357,690	△ 317,242	△ 40,448				
前 年 度 繰 越 消 費 収 入 超 過 額	162,409	92,950	69,459				
基 本 金 取 崩 額	0	0	0				
翌 年 度 繰 越 消 費 収 入 超 過 額	△ 195,281	△ 224,292	29,011				

## 貸借対照表

平成31年3月31日

(単位 千円)

資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 資 産	8,500,851	8,542,392	△ 41,540
(1) 有 形 固 定 資 産	6,032,560	5,906,832	125,728
(2) そ の 他 の 固 定 資 産	2,468,291	2,635,560	△ 167,269
流 動 資 産	1,675,241	1,580,680	94,561
合 計	10,176,093	10,123,072	53,020

負債の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 負 債	504,763	525,179	△ 20,416
流 動 負 債	289,320	330,546	△ 41,226

第 1 号 基 本 金	9,339,302	9,001,398	337,904
第 2 号 基 本 金	94,000	0	94,000
第 4 号 基 本 金	173,000	1,793,000	△ 1,620,000
消 費 収 支 差 額	△ 224,292	△ 1,527,050	1,302,758

合 計	10,176,093	10,123,072	53,020
-----	------------	------------	--------

## 活動区分資金収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位 千円)

教育活動による資金収支	
項目	金額
教育活動資金収入計	2,409,485
教育活動資金支出計	2,131,358
差引	278,127
調整勘定等	△ 68,055
教育活動資金収支差額	210,073

施設整備等活動による資金収支	
項目	金額
施設整備等活動資金収入計	101,200
施設整備等活動資金支出計	525,326
差引	△ 424,126
調整勘定等	△ 13,584
施設設備等活動資金収支差額	△ 437,709

その他活動による資金収支	
項目	金額
その他活動資金収入計	1,961,183
その他活動資金支出計	1,672,335
差引	288,847
調整勘定等	△ 55
施設設備等活動資金収支差額	288,792

支 払 資 金 の 増 減 額	61,156
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	1,526,825
翌 年 度 繰 越 支 扟 資 金	1,587,980

過去三ヵ年の財務の推移表

単位 千円

資金収支計算書		平成28年度			平成29年度			平成30年度		
		短大343名 高校1,169名 幼稚園 933名 保育所79名			短大358名 高校1,183名 幼稚園958 名 保育所95名			短大325名 高校1,060名 幼稚園 990名 保育所101名		
大科目		金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考
学生生徒納付金収入		1,089,217	17.8%		1,110,677	20.1%		1,021,964	17.2%	
手数料収入		45,848	0.8%		42,376	0.8%		37,902	0.6%	
寄付金収入		17,737	0.3%		10,019	0.2%		11,010	0.2%	
補助金収入		1,485,307	24.3%		1,115,203	20.2%		1,161,611	19.6%	
資産運用収入		42,855	0.7%		40,558	0.7%		43,383	0.7%	
資産売却収入		1,154,630	18.9%		673,049	12.2%		1,378,800	23.2%	
事業収入		88,802	1.5%		107,011	1.9%		105,873	1.8%	
雑収入		60,245	1.0%		44,786	0.8%		72,326	1.2%	
借入金等収入		200,000	3.3%		0	0.0%		0	0.0%	
前受金収入		250,674	4.1%		219,957	4.0%		172,999	2.9%	
その他の収入		717,643	11.8%		954,090	17.3%		673,054	11.3%	
資金収入調整勘定		△ 750,545	-12.3%		△ 297,230	-5.4%		△ 273,170	-4.6%	
前年度繰越支払資金		1,702,870	27.9%		1,510,409	27.3%		1,526,825	25.7%	
資金収入合計		6,105,283	100.0%		5,530,905	100.0%		5,932,576	100.0%	
人件費		1,356,758	22.2%		1,507,800	27.3%		1,528,416	25.8%	
教育研究経費支出		383,912	6.3%		453,186	8.2%		333,889	5.6%	
管理経費支出		279,019	4.6%		288,278	5.2%		269,053	4.5%	
借入金等利息支出		750	0.0%		1,891	0.0%		1,887	0.0%	
借入金等返済支出		0	0.0%		8,390	0.2%		8,330	0.1%	
施設関係支出		1,322,032	21.7%		416,056	7.5%		300,997	5.1%	
設備関係支出		76,725	1.3%		20,214	0.4%		20,963	0.4%	
資産運用支出		917,978	15.0%		990,984	17.9%		1,318,472	22.2%	
その他の支出		394,625	6.5%		411,481	7.4%		641,214	10.8%	
資金支出調整勘定		△ 136,923	-2.2%		△ 94,200	-1.7%		△ 78,625	-1.3%	
次年度繰越支払資金		1,510,409	24.7%		1,526,825	27.6%		1,587,980	26.8%	
資金支出合計		6,105,283	100.0%		5,530,905	100.0%		5,932,576	100.0%	

過去三年の財務の推移表②

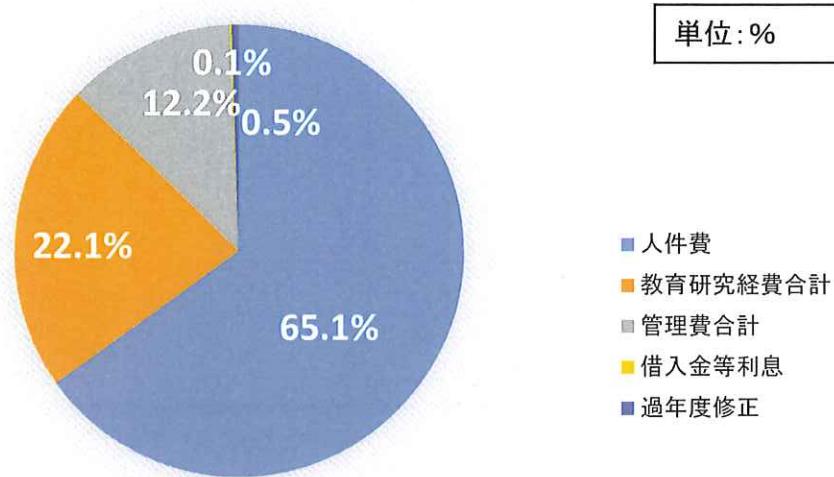
単位 千円

事業活動収支計算書		平成28年度			平成29年度			平成30年度		
大科目		金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考
学生生徒納付金		1,089,217	46.5%		1,110,677	45.7%		1,021,964	42.4%	
手数料		45,848	2.0%		42,376	1.7%		37,902	1.6%	
寄付金		5,570	0.2%		10,019	0.4%		11,010	0.5%	
補助金		1,050,582	44.9%		1,114,041	45.9%		1,160,411	48.2%	
事業収入		88,802	3.8%		107,011	4.4%		105,873	4.4%	
雑収入		60,245	2.6%		44,786	1.8%		72,326	3.0%	
教育活動収入計		2,340,265	100.0%		2,428,909	100.0%		2,409,485	100.0%	
人件費		1,355,790	57.9%		1,499,273	61.7%		1,527,460	63.4%	
(教育研究経費支出)		(339,545)	14.5%		(382,550)	15.7%		(271,801)	11.3%	
(奨学費支出)		(44,366)	1.9%		(72,079)	3.0%		(63,531)	2.6%	
(減価償却額)		(142,088)	6.1%		(171,763)	7.1%		(181,918)	7.6%	
教育研究経費 合計		525,999	22.5%		626,392	25.8%		517,250	21.5%	
(管理経費支出)		(279,019)	11.9%		(288,278)	11.9%		(269,053)	11.2%	
(減価償却額)		(14,862)	0.6%		(18,159)	0.7%		(17,498)	0.7%	
管理経費 合計		293,881	12.6%		306,437	12.6%		286,551	11.9%	
徴収不能引当金繰入額		31	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
教育活動支出計		2,175,701	93.0%		2,432,103	100.1%		2,331,260	96.8%	
教育活動収支差額		164,563	7.0%		△3,194	-0.1%		78,225	3.2%	
受取利息・配当金		42,855	1.8%		40,558	1.7%		43,383	1.8%	
その他の教育活動外収入		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
教育活動外収入計		42,855	1.8%		40,558	1.7%		43,383	1.8%	
借入金等利息		750	0.0%		1,891	0.1%		1,887	0.1%	
その他の教育活動外支出		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
教育活動外支出計		750	0.0%		1,891	0.1%		1,887	0.1%	
教育活動外収支差額		42,105	1.8%		38,666	1.6%		41,495	1.7%	
経常収支差額		206,668	8.8%		35,473	1.5%		119,720	5.0%	
資産売却差額		166	0.0%		2,753	0.1%		4,196	0.2%	
その他の特別収入		449,688	19.2%		6,599	0.3%		3,288	0.1%	
特別収入計		449,854	19.2%		9,352	0.4%		7,483	0.3%	
資産処分差額		153,107	6.5%		648	0.0%		39	0.0%	
その他の特別支出		0	0.0%		0	0.0%		12,502	0.5%	
特別支出計		153,107	6.5%		648	0.0%		12,541	0.5%	
特別収支差額		296,746	12.7%		8,703	0.4%		△5,058	-0.2%	
基本金組入前当年度収支差額		503,414	21.5%		44,176	1.8%		114,663	4.8%	
基本金組入額合計		△583,282	-24.9%		△479,420	-19.7%		△431,904	-17.9%	
当年度収支差額		△79,868	-3.4%		△435,245	-17.9%		△317,242	-13.2%	
前年度繰越収支差額		514,176			527,784			92,950		
基本金取崩額		93,476			0			0		
翌年度繰越収支差額		527,784			92,540			△224,292		

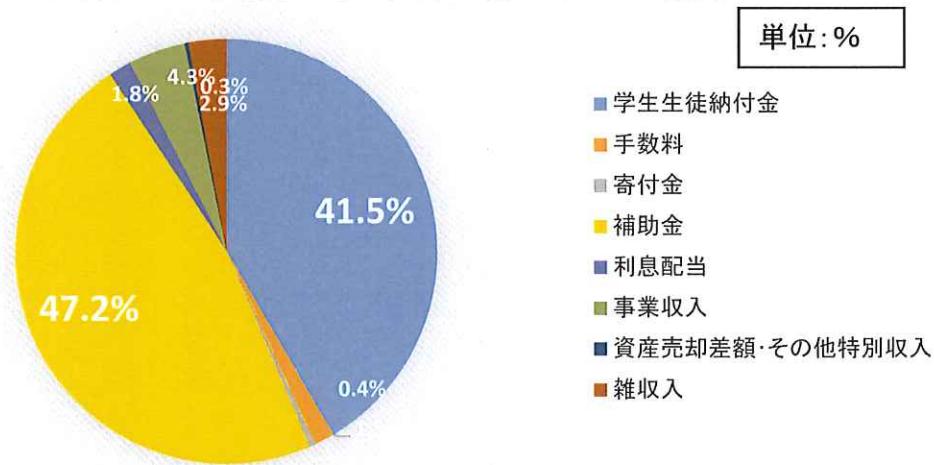
※各比率は教育活動収入に対する比率。

# 平成30年度決算報告グラフ他分析資料

## 平成30年度 事業活動支出構成比率



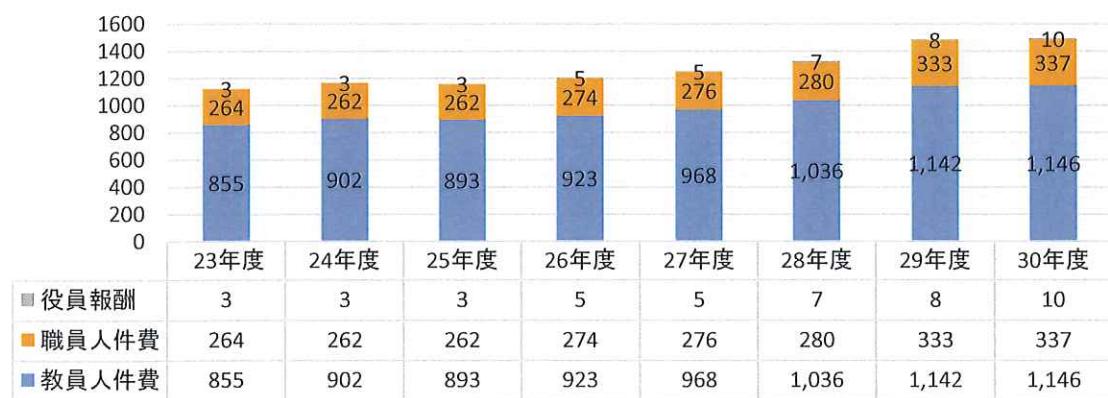
## 平成30年度 事業活動収入の構成比

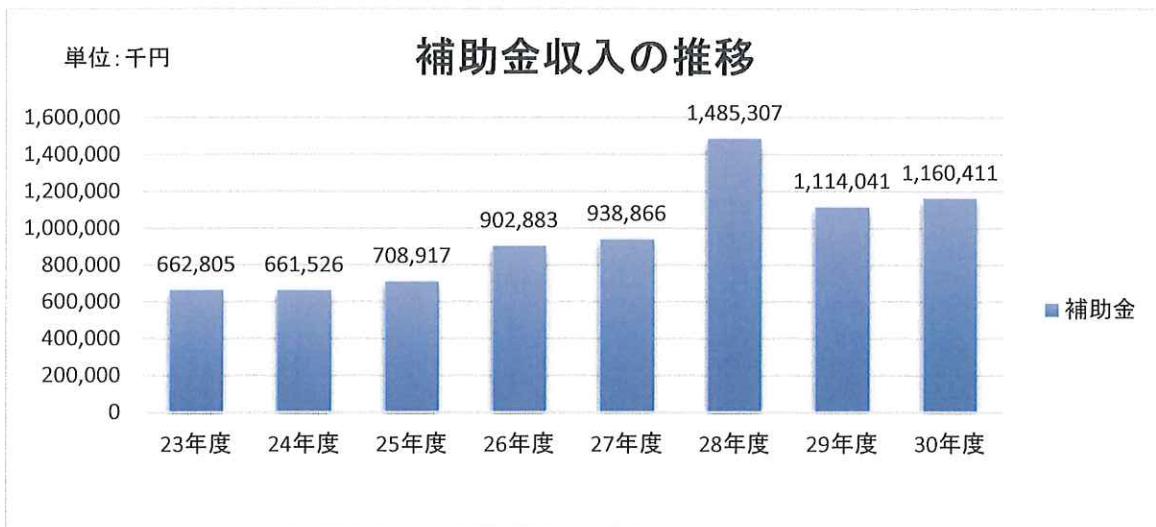
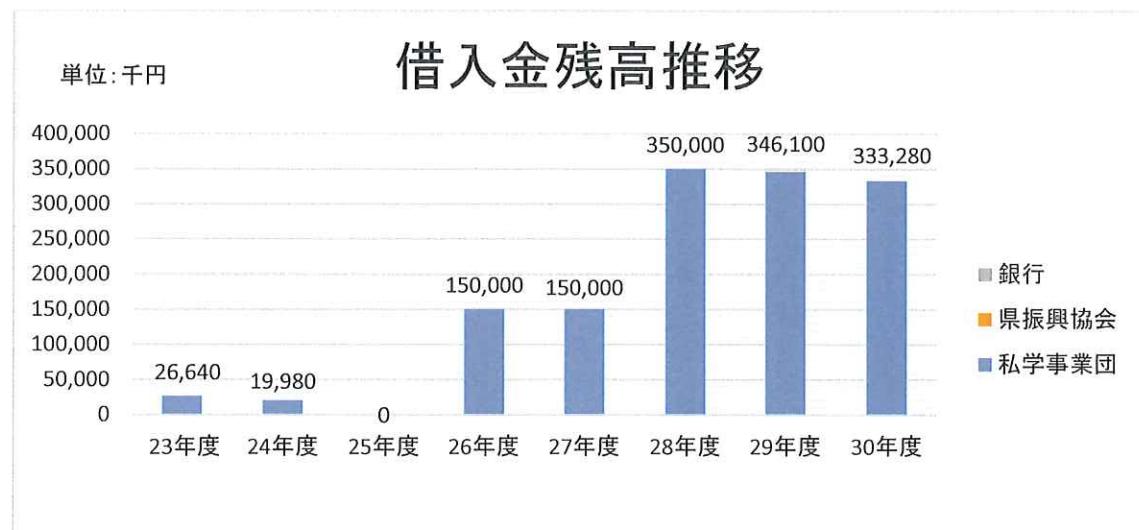


## 人件費(消費支出)の推移

単位: 百万円

■教員人件費 ■職員人件費 ■役員報酬





## 学生数の推移

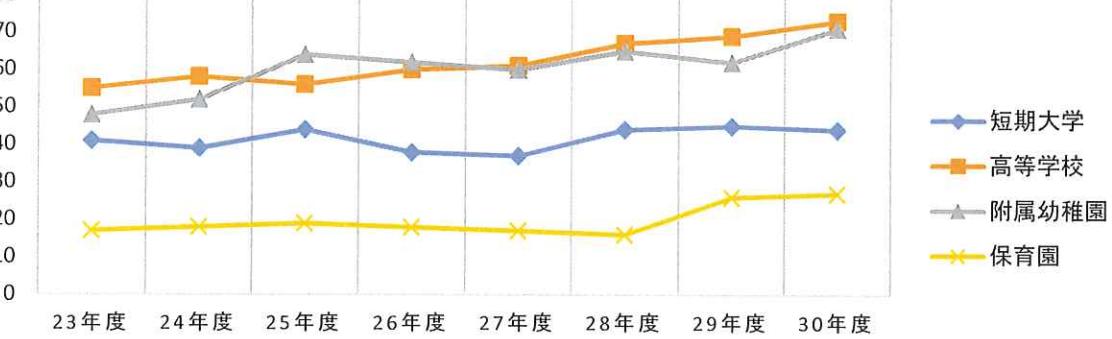
単位:人

■短期大学 ■高等学校 ■附属幼稚園 ■保育園



## 常勤教職員の推移

単位:人



## ◆◆主要財務諸表の比較表◆◆

単位:%

比率	算式(×100)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人件費比率	人件費÷事業活動収入	51.4	48.1	60.4	62.0
人件費依存率	人件費÷学生成生徒等納付金	117.9	124.5	134.9	149.5
教育研究経費支出率	教育研究費÷事業活動収入	19.4	18.6	25.3	21.0
管理経費支出率	管理経費÷事業活動収入	9.9	10.4	12.3	11.6
事業活動支出比率	事業活動支出÷事業活動収入	87.0	82.2	98.2	95.3

令和元年5月23日

## 監査報告書

学校法人 湊川相野学園  
理事長 浅井祐子 殿

学校法人 湊川相野学園

監事 下山 隆一郎

監事 木寅文雄

私たちちは、学校法人湊川相野学園の監事として、私立学校法第37条3項に基づいて同学園の平成30年度（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）における計算書類（資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表並びに附属明細表）及び学園の業務執行状況について監査を行いました。

私たちちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど、必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、私たちちは学校法人湊川相野学園の業務に関する決定及び執行は適切であり、事業報告書、財産目録及び計算書類は会計諸帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人湊川相野学園の業務又は財産に関し不正の行為又は法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。